

Noah4をお使いの場合は、Noah4を起動してオーディオグラムなど顧客情報を登録します。  
顧客情報の登録が終わったら、モジュールリストから「COMPASS GPS」を起動し、**4**へお進みください。

**1** COMPASS GPS を起動します。



EVOKEのフィッティングには、COMPASS GPS V3.0以降が必要です。

**2** COMPASS GPS スタンドアローン データベースにログインします。



イニシャル：ADM  
パスワード：GPS  
(いずれも半角大文字)

**3** COMPASS GPS スタンドアローンデータベースに顧客情報を登録します。  
新規フィッティングの場合は、「新しいセッション」を、微調整の場合は保存されているセッションを選択し、「セッションを開く」をクリックします。



微調整の場合は、調整に使用するセッションをクリック

オーディオグラムの入力

新規顧客を追加 顧客データの編集 顧客データの削除

新しいセッション ... 新規フィッティング

セッションを開く ... 微調整

GPSを閉じる ... COMPASS GPSの終了

**4** 補聴器やUSB Linkなどの接続機器（インターフェイス）をお客様に装着していただき、「接続」をクリックします。



5 補聴器の左右を指定し、「次へ」をクリックします。



6 補聴器の音響構成を指定し、「OK」をクリックします。



「補聴器データ」画面  
調整済みの補聴器の場合は、上記画面が表示されます。  
該当するボタンをクリックします。



補聴器データ：再調整の場合  
新規フィッティング：試聴器などを新たに調整する場合

7 新規フィッティングの場合、装用者の補聴器経験を選択します。  
該当するボタンをクリックします。



8 「フィードバックテスト」「センソグラム」測定を行います。



## <フィードバックテスト画面>

9

「ノイズレベル」がすべてグリーンになっているか確認します。



10

「テスト開始」をクリックし、フィードバックテストを行います。

開始  
フィードバック状況  
テスト 未完 (推定値)  
インサイトイベント  
未測定  
ノイズレベル

フィードバックテスト状況  
テスト未完了：測定されていません  
 ✓ : 会話聴取に必要なゲインを確保している状態  
 ! : 必要な利得を確保できない可能性あり

## <センソグラム画面>

11

測定する周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルをあわせませす。



12

「♪トーンを鳴らす」にカーソルを合わせ、最小可聴閾値を測定します。測定は、1k→2k→4k→500（アンダーラインの周波数）の順に行います。

聴力レベルの変化が急な場合はその他の周波数も測定します。

### フィードバックテスト結果が悪かった場合

- ① 周りが静かなこと、補聴器の装用具合を確認
- ② 耳せんりのサイズやベント径を確認
- ③ グラフで利得を確認
- ④ 会話の音量が足りているかどうか確認
- ⑤ イヤモードやシェルの形状の見直し

13

「ファインチューニング」をクリックし、音の大きさや音質の設定を行います。

ターゲット(目標値)表示

ゲインとコンプレッション		サウンドクラス					
500	1k	2k	4k	500	1k	2k	4k
104	105	103	96	104	105	103	96
4	10	9	7	4	10	9	7
11	17	16	14	11	17	16	14
20	26	30	24	20	26	30	24

**IGラウド**  
 ・かなり大きな音  
 ・衝撃音の聞こえ  
 ・自分の声（低域）

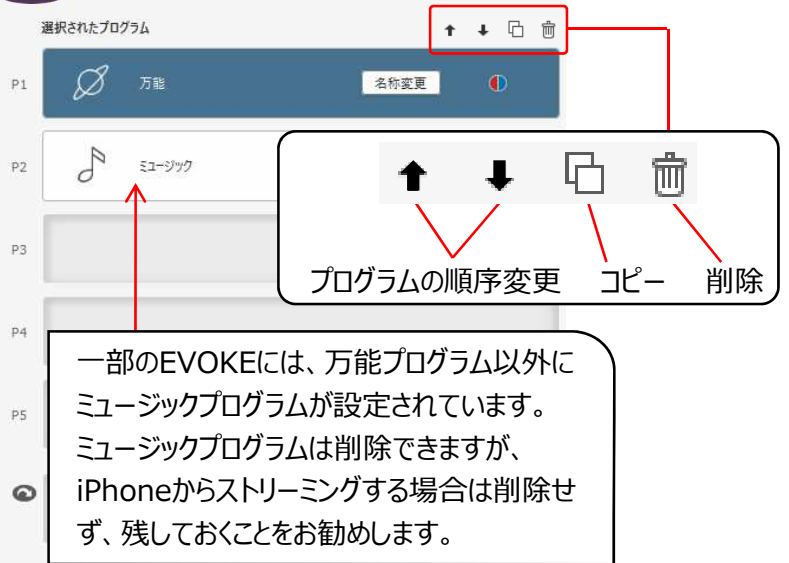
**IGノーマル**  
 ・会話レベル  
 ・少し大きめの音  
 ・テレビの音

**IGソフト**  
 ・小さな音の聞こえ方  
 ・静かな場所での物音  
 ・遠くの音の聞こえ方

14 プログラムを追加する場合は、「プログラムマネージャー」をクリックします。



15 追加するプログラムを選択し、「→」をクリックします。



16 プログラムの追加が終わったら、「調整」をクリックします。

17 「使用操作」をクリックし、DEX設定や補聴器の構成を確認します。



18 「補聴器構成」をクリックし、お知らせ音などの設定を行います。



19 調整が終わったら、「セッションの終了」をクリックします。

20 セッション終了後の動作をクリックします。セッションを終了：選択している顧客画面に戻ります。COMPASSを閉じる：GPSを閉じます。

